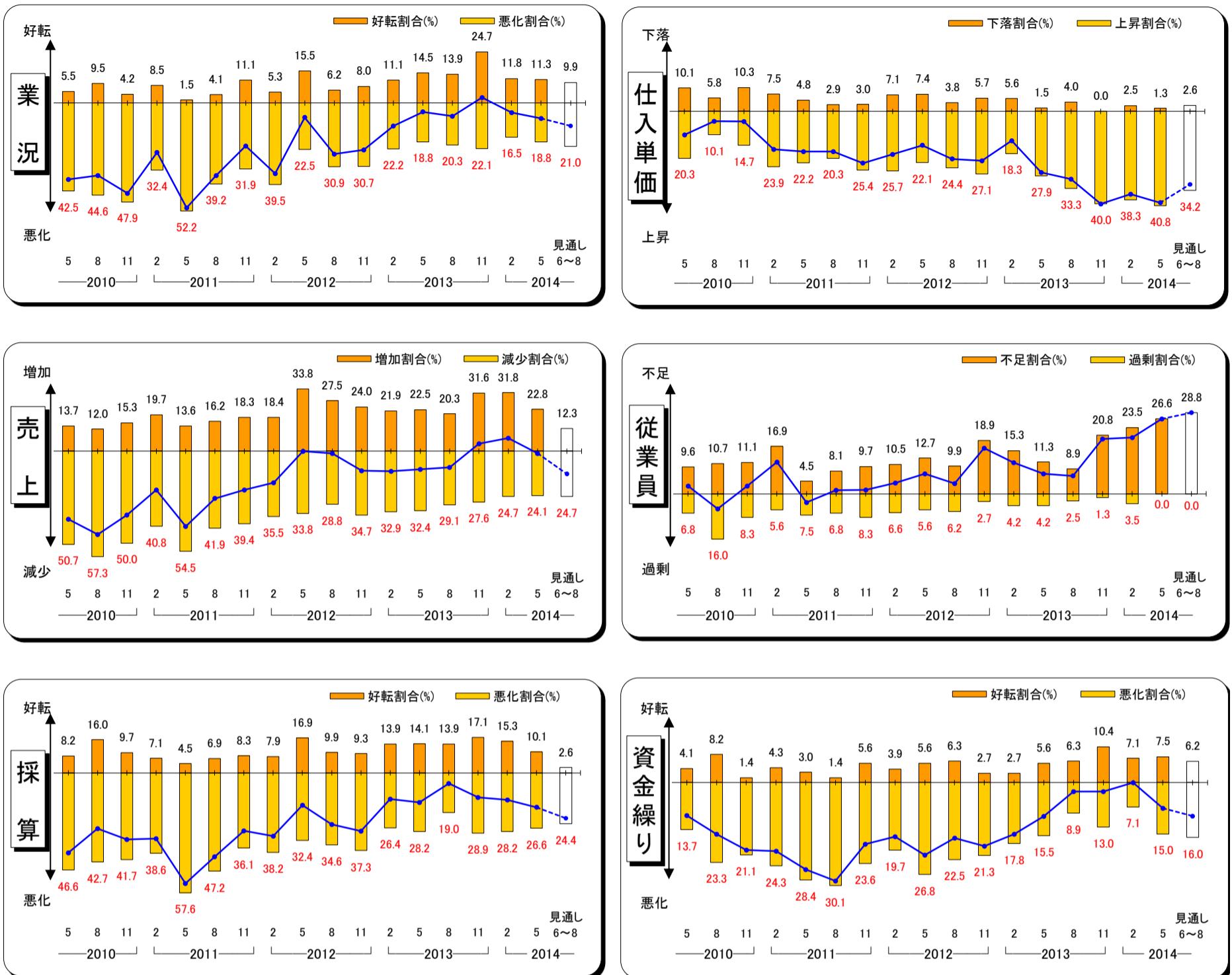


【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（順不同）

テレビジョン番組制作業	6年後の東京オリンピックに向けて、さまざまな業界が動きだしている。企業の動向に注目。
運輸附帯サービス業	3月、4月と作業は順調に推移した。消費税による鈍化を懸念したが、円安に依り輸入にも影響が出ている傾向が見られる。5月に入って仕事量が減速、消費税の影響や円安により、原材料の輸入が減少しているのではと予想している。原材料価格の上昇、景気動向に依る雇用バランスの変化で、人材確保に影響が出るのではと心配している。
貸事務所業	現在は落ち着いていて、変化がない状態です。
貸事務所業	政府は景気が上向いていると言っていますが、何も実感として感じられません。
建設機械器具賃貸業	雇用に関してハローワーク等を利用しているが、20代～40代の若い人が来てくれない。これにより若い人材を育てることが出来ず、自社の特長が失われてしまう恐れがある。
建築設計業	年度末の慌ただしさが一段落した感があります。例年に比べると、住宅の耐震改修などの需要が弱いように思います。
建築設計業	消費税対策として、半年ぐらい前から内税から外税に変更し、当社及び顧客にも外税に対して慣れさせていただき、スムーズに導入できた。景気の先行きについては不透明であるが、現段階では好転模様である。
測量業	中小企業にとって、社員の給料を上げることは大変です。何とかして毎年3～5%上昇させたいと努力しております。
旅館・ホテル	今年度7～8月に旅館業の持ち回り大会が千葉にくるため、それによって売上は増える予定だが、借入が増えているため不安。
ラーメン店	消費税込の値付けをすると、商品によっては800円以上になる等、値が高く感じる印象があります。券売機で営業の店などは不利な点があるので、行政などの指針により統一してほしいです。
すし店	すし種が少なく、値が上がっています。周りの状況が良くないですが、このような時にこそ、なお一層の努力が必要だと思います。ピンチがチャンスです。
美容業	美容業界、特にヘアサロンは若者が少なく人手不足。この先、年が経つにつれ不安になるだろう。
機械修理業	中古建機販売は供給不足による値上がりが一段落して落ち着いてきた様子。消費増税前の駆込み購入が落ち着いたためと考える。海外での中古建機需要は、比較的新しい年式のものに代わりつつある様子。消費税率の引き上げに対して、賃金（特に交通費）引き上げて対応しているが、自動車通勤者が多い為に負担が増大している。
ビルメンテナンス業	求人（清掃スタッフ）募集をしても電話が鳴らない状況が続きます。大型SCのオープンと重なった海浜幕張の事業所では、募集定員未達のため、1年半に渡り募集を継続し、結果的に500万円以上の募集経費（当社の中では通常の3倍以上の異常値）がかかり、現在も募集中です。今後は受注時に労務単価上乗せ分の経費を算出しなければいけないと思っています。
ビルメンテナンス業	受注単価の低下、仕様の変更などにより売上高に影響あり。人材の確保が厳しい状況。
警備業	社員・従業員の量と質がそのまま業績に反映される体質であるところに昨今の求人難である。仕事受注のチャンスはあるが、人手不足で対応できないケースが多々ある。